

末黒野

すぐろの



9月号 (通巻769号)

凌
霄

小川玉泉

敷石に金粉撒きぬ黄楊の花
マロニエの花の浮き出づ庭明かり
南風見せてさわさわ育つ千枚田
いづこより来しががんばや玻璃の内

蟹歩む水の減りたる金魚池
真っ先に江戸風鈴を品定め
軋まざり首をめぐらす扇風機
夏つばめ奈良井の宿をまつしぐら
樅の木の緑陰人を拒まざる
梅雨の雷突堤を噛む濤しぶき
凌霄や妻の口数殖えてをり
背戸近く夏鶯の声の艶

一里塚

松本三千夫

前梅雨の降りみ降らずみ多佳子の忌
暁闇の厠点すやほととぎす
竹林に棲む昼の闇梅雨の蝶
脱稿の眼鏡を置くや時鳥
さざ波の風を追ひゆく植田かな
声出して助詞の推敲太宰の忌
百両ほど摘み取って来ぬ小判草
公園の蛇口上向き花ユツカ
この路地も寺にて尽きぬ岩煙草
灸花飾り品濃の一里塚
夕菅や野に白じろと月上げて
基地の波常より高し沖縄忌

甲矢集

配列は音順（当月巻頭作家は
次号は末尾になり以下同じ）

北 帰 行

田 中 臥 石

チューリップ越^えの砺波の山家路
山藤のむらさき匂ひ出羽の国
軒低き相馬の街やつばくらめ
植田過ぎ越後長岡雲低し
新緑の出羽の一夜を車中泊
緑さす故郷夜明けの遠蔵王
今生の旅新緑の会津越え
薯の花相馬の妻の生家跡
白河に姉老いゐたり花槐
阿武隈の川やはしりの鰍捕り

滑 齒 覓

小 野 口 正 江

蚕豆や夫の笑顔の輩翠色
来訪の人に剪り分け濃紫陽花
紫陽花や仏間の壁を塗り替へて
父母になき齢を生きて滑齒覓
虹消ゆるまでを佇み夫の墓
夏至の日や夫を祖とする墓の影
山椒の伸びきつてをり梅雨晴間
夫たちの防人の楯沖縄忌
記念樹の八重桜伐る夏祓
サンガラス父母の墓まで歩めずに



乙矢集

配列は音順（当月巻頭作家は
次号は末尾になり以下同じ）
太字は推薦句

梅 雨

小山紫乃布

淋しさの紛れて低し梅雨の蝶
梅檀の月下の花や人悼む
くちなしやしきりと喉のかわく夜
命とは何ぞや梅雨の鴉鳴く
人拒み咲き揃ひたる布袋草
海紅豆波音高くなりにつり
うかうかと梅雨川に鱒迷ひ来て

くちなし

小山ミツ子

くちなしの香りに寄する車椅子
くちなしの花の盛りを退院す
くちなしの花泥棒の他にゐて
くちなしにこぬか雨降る閑かさよ
くちなしの雨の静かや靴ぬらす
交番にくちなし一花だれもみず
くちなしの終の一花となりにつり



時 鳥 鈴木 一三

新 緑 松田 泰子

ほととぎす鎮守の杜を欲しいまま
豆飯や憂き事すこしづつ癒えて
安さうな竿竹売りの来て薄暑
念入りに辣蕪洗ふ外流し
蚊遣香燻らして塗るふくべかな
姉の忌や読経の僧の汗手貫
形代に齡傘寿と記しけり

衣 更 西川 みほ

鴨残る谷戸田いちめん荒れしまま
山宿の土間に筍獣めく
風筋をつかみ子燕飛び立ちぬ
衣更へて姿見に問ふ余生かな
深々と万緑映す湖の蒼
飛ぶものありて薔薇園香り立つ
葎切のリズムの襲ふ睡魔かな

落石を根元に溜めて花胡桃
ふり向きもせず新緑へランドセル
太宰忌の水をかすめて黒揚羽
外に出でて風も新たなや更衣
神話みなどこかが同じ麦の秋
老鶯や雨の降り込む露天風呂
少女にも箸置ありて夏座敷

万 緑 森清 信子

海の碧空に移して鳥帰る
水輪水輪水輪生みつぎあめんぼう
若葉寒畳に椅子の聖徒席
万緑や裳階もこしの木組み細やかに
子燕や宿場貫く用水路
麦秋や下校子乗する一両車
夕映えの葉騒の椰子とヨットの帆

万 仞 集

苗打ちの棚田十枚雲映す

辻井ミナミ

栃の葉をたたみて飲めり山清水

大橋弘子

涼しさや柾目の著き長廊下

岡野里子

豆飯を高く盛りつけ供へけり

饗庭恵子

刈り込める満天星しかと芽吹きたり

山崎稔子

道ひとつ植田を隔て日本海

有賀鈴乃

鷺草の風呼ぶ丈となりにけり

浅川幸代

蓴汁湖は静かに雨を受く

加藤静江

亀の子や五尺の池を泳ぎきり

前川美智子

いくたびもお辞儀をさせておじぎ草

大内由紀

木洩れ日や杉の落葉の踏みごたへ
顔中を口に替へをり燕の子
衣紋竹一ト日の疲れ掛けにけり
鉢底の青き蜥蜴を吐きにけり
一二本やがて本気の草むしり
手をにぎるのみの見取やほととぎす
頼りなき軽さなりけり更衣
南天の花に羽音の纏りぬ
祭足袋老いの威厳の白さかな
厨の灯消して母の日過ぎにけり

早川芳子
内山夕エ
戸田澄子
高橋明
秋山悌歩
鈴木礼子
旗島嘉則
高橋美恵
新堀満寿美
磯田美津子

巨林抄

梅雨深し固きケースの名画集	宿下駄の砂利ふむ音や夏の月	山ぬけて電車みどりの風纏ふ	小半時憩へる丘や時計草	夕焼や植ゑ残りたる田一枚	山頭火の涙の句碑や春時雨	緋目高や螺鈿びかりに臓器透き	百幹の竹の匂ひや夏座敷	太梁のうねる古民家走り梅雨	梅漬くる妣のくせ字の残る襖	春の雷いまだ目覚めぬ白樺湖	濠ませせて雨色に描く花菖蒲
泉和美	皆川千佐恵	倉内和子	中山隆士	向佐幸子	今村千年	及川照子	中島ひろし	土田亮	細島孝子	鈴木一恵	沼崎千枝